

四倉組頭排斥に 石城民派の魔手

町民は寧ろ反感を抱く 黨勢擴張の奸策

石城民派は所謂黨勢擴張手段は人権見解を以て本
である黨勢擴張を目的に、郡消防組頭級にたいして
あらゆる方面に運動を續け、五指の一つに数えらるる
け過般も大浦消防組頭問題の貫録ある人物であり四倉
を切つ掛け、種々策動を町民は勿論組員からの信望
なし納付なる農村民に不安極めに厚厚なる周知の事實
の念を興えたる同村に於ては町民は却て野崎氏一
ける民政派の重鎮應答次郎の行動に反感を抱き同
郎氏は大いに激昂し「今後時に今後を警戒して
この問題を中心とし、黨勢
擴張を目的に随劣なる運動
を組織する時は我々民政黨
同志は袂を連ねて脱黨す
一と警告した實例さへある
然るに一派は今回又々四倉
消防組頭問題に魔の手を延
ばし、四倉組頭馬倉次郎
席上中町辯護士真木恒氏
氏の排斥を目論見組頭に反
感をもつ所から幹部辭職
を決定せざるが如き虚説を
さしてゐるが、門馬新組

眞木恒氏が 陪審法講演

久の演習青年會で 久の演習町大久村青年會

いばらき新聞平支局長より
助川支局長に榮轉した柏木
西氏の送別會は一日午後五
時より平町谷口樓に於て開
會したが定期發行者側を代
表して常務委員日社長川崎文
治氏の挨拶に次ぎ柏木氏の
謝辭あつて眞木恒氏、新田町
美形酒間を幹旋し盛會裡に
九時散會したが出席九十餘
名に達し稀れに見る賑かな
送別會で出席者氏名左の如
し
（順序不問）阿部系一郎
警務自動車會 山田忠
太郎 岡田政治郎 鈴木
源藏 瀧澤俊平 淺野恵
四郎 鈴木重助 山田興
隆 後藤泰雄 高久忠
門田清吾 横地部長 吉
田彌之助 伏見彦衛 猪
狩清 市原卯太郎 稲田
農試分場長 大和田田司

米價の安い原因に 六ツの理由

賣り急ぎが毒になる 平穀檢所て調査

石城郡地方の産米は昨年度
の減收に拘らず米便安で
家は大打撃を蒙つてゐる
これに就て穀物檢所平支
所に於て調査した結果米價
安は左の六箇條に起因し
ることを指摘して發表し
た
一、各地方に於ける信用
資金の欠乏と貸出の限
定特に中山農が若干の特
米を賣り借入金、充當
又勤勞所得の道が困難と
なつたに於て諸公謀が

教育の意義と目的

平町 五十嵐雄齊(寄)

其の時或は妻を連へて、
うけるに至つては親子三四
人して親の腰を噛むこと
なる、殊に一通り以上に専
門科目を研究しやうとする
か又は學位獲得の希望でも
起して研究生活をする時
は、六七十年乃至十年は無
入を覚悟せねばならぬ、今
日如く醫學が進歩し又醫
師の過剰を來してゐる時
代ではこれを決して物數奇
でも發達でもない、生存競
争上の必要からである、現
代に於て教育に於ては、
於ける學校教育を以て致
本誌の趣意をいから他
於ける學校教育を以て致
本誌の趣意をいから他
於ける學校教育を以て致
本誌の趣意をいから他

柏木氏送別會

一日夜谷口樓に於て 出席九十餘名

柏木氏は今二日午前九時一
分半發にて赴任したが同部
事務部長、猪狩平署長、伏
見町長、阿部政右門、大
森、佐々木町議その他百餘
名の見送り人々ホームは時
々の賑ひを呈した
名の見送り人々ホームは時
々の賑ひを呈した
名の見送り人々ホームは時
々の賑ひを呈した

佐藤前代議士の 貸金横取り事件

原告松本元三郎氏が 平支部で勝訴判決

平町一丁目松本元三郎氏が
平町一丁目松本元三郎氏が
平町一丁目松本元三郎氏が
平町一丁目松本元三郎氏が

雇人の悪事

主人から金時計 月二十七日に主家より金

石城郡平津村大字下平津字
御治内農務本竹次郎雇人安
現行犯として取押へられ
連部大平村大字遠山字木
目下嚴重取調中である

昭和の與市兵衛

石城郡大野村大字下柳佐藤

石城郡大野村大字下柳佐藤
同村清水吉三郎所有の三百
坪田(五)は去月同村駒込
四十二坪を買収すべく交渉
中田仙太郎の長女かつ子(五
の處價格の相違で折合を
不協の類により東京市
警署の榮座標に前借七百
圓で婚嫁に世話をなした
料費其の他の雜費四百圓
を差引いても残りの三百圓
を任拂ふべきを拂はずに
たことを知り合ひ同村
田政夫外三名が共謀し仲
を呼び込んで賭博を開張し
グルになつて三百圓を捲
上げられ内密に於てた事
を仲治の息子源之助が知
一日四倉署に前配三名を
手取り告訴し及んだので
係者を呼び出し目下嚴重取
調中である

差押處分

平稅務署で 石城郡大野村酒造業者石井

石城郡大野村酒造業者石井
一郎氏は郡内でも有数の酒
造家として知られて居たが
打撃(財界不況のため昭和
三年度第三期及同第四期
酒造稅一萬五百餘圓が滞納
となり納期までに納附の目
込み立たないが販賣處分
をして貰ひたいとの程平
稅務署に申請して來た同業
は係員を派し調査の結果
二十八日差押處分を執行
した

七十七小名支店

重役會で大体決定し 設置實現有望

石城郡小名濱町では町會
開き同町に七十七銀行出張
所を設立する銀行業者
郡玉川村出身現在横濱市中
區東町大平重良氏は鹿島
の罹災者を救助して下さ
るに依り報の如くであつ
たので、二十七日同町本
町常務取締役が來平し小
名濱町に出張して種々調査
をなし二十八日日本店に於
て重役會を開き出張所設置
について協議をかき最初
出張所設置が望まれて
縣立水産試驗場では通信省
の船舶機關手
試驗を執行す
る。但しヤケ木杭と言
ふ。本三本の内では
頻る廣範圍に亘つて
月十四日から機關手養成
習會を開催して居たが
四日を以て終了同七、八の

漁船機關手

試験を執行す 縣立水産試驗場では通信省

縣立水産試驗場では通信省
の船舶機關手
試驗を執行す
る。但しヤケ木杭と言
ふ。本三本の内では
頻る廣範圍に亘つて
月十四日から機關手養成
習會を開催して居たが
四日を以て終了同七、八の

頭に重傷

西郷の鐵橋で 石城郡湯本町宇天玉崎

石城郡湯本町宇天玉崎
玩具行商人佐藤(五)は
一日午前九時四十分頃
村大字西郷字落合地内の第
二西郷鐵橋を渡つてゐる折
病發進んで来た下り二一
號列車に跳飛され頭部其
の重傷を負つた

差押處分

平稅務署で 石城郡大野村酒造業者石井

石城郡大野村酒造業者石井
一郎氏は郡内でも有数の酒
造家として知られて居たが
打撃(財界不況のため昭和
三年度第三期及同第四期
酒造稅一萬五百餘圓が滞納
となり納期までに納附の目
込み立たないが販賣處分
をして貰ひたいとの程平
稅務署に申請して來た同業
は係員を派し調査の結果
二十八日差押處分を執行
した

梅毒

皮膚病 婦人病 専門科

皮膚病 婦人病 専門科
皮膚病 婦人病 専門科
皮膚病 婦人病 専門科
皮膚病 婦人病 専門科

腸胃

科 腸胃 専門科

科 腸胃 専門科
科 腸胃 専門科
科 腸胃 専門科
科 腸胃 専門科

高久病院

平町田町 電話五三三番

平町田町 電話五三三番
平町田町 電話五三三番
平町田町 電話五三三番
平町田町 電話五三三番

開店披露

自動車御用ハ 電話三四三番

自動車御用ハ 電話三四三番
自動車御用ハ 電話三四三番
自動車御用ハ 電話三四三番
自動車御用ハ 電話三四三番

馬場會支部會員に告ぐ

聯合懇親會を左の如く開きます

聯合懇親會を左の如く開きます
聯合懇親會を左の如く開きます
聯合懇親會を左の如く開きます
聯合懇親會を左の如く開きます

大谷時計病院 院長博士敬白 電話一九番

平町新川町 木村醫院 電話一六四番

大谷時計病院 院長博士敬白 電話一九番